

注 記 表

1. 重要な会計方針

(1) 満期保有目的の債券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券の評価基準は原価法であり、評価方法については平均法によっている。

(2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
有価証券	30,000,000	0	30,000,000	0
定期預金	218,000,000	30,000,000	0	248,000,000
小 計	248,000,000	30,000,000	30,000,000	248,000,000
合 計	248,000,000	30,000,000	30,000,000	248,000,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産				
定期預金	248,000,000	(0)	248,000,000	(0)
合 計	248,000,000	(0)	(248,000,000)	(0)